

NPO法人レクタスのあゆみ

令和元年版

年 月	活動のあゆみ	広がる活動	この年の福祉・教育
二〇〇五 四 平成十七 五 六 十一	塚原喜代子が横浜市立小学校教員を退職。町田市や横浜市青葉区の公共施設を借りて、二名の子どもと共に「算数教室」（スマイルハッピー教室）をボランティアで始める。 同時にケーキ屋さんになる夢をもつ子どもたちのために「お菓子教室」も始める。 通級児童のための遊び方教室として活動している保護者団体「あかいろぱれっと」の依頼により、全教科の学習指導と保護者相談を横浜市青葉台の鈴春荘で始める。 横浜市青少年育成活動補助金の交付決定。	・算数教室 ・お菓子教室（ハッピースウィーツ） ・全教科 学習支援 ・保護者相談 ・子どものカフェ	・「障害者自立支援法」の成立 (十八年四月一日施行) ・発達障害者支援法施行（四月） ・文部科学省中央教育審議会「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」答申
二〇〇六 四 平成十八 五 七 七	これまで手伝っていたスタッフ三名を加え、団体名称を「レクタス」と決める。 横浜市緑区霧が丘に移転。霧が丘教室での活動を開始する。 この年から夏休み教室を開催する。 霧が丘教室のプールを使い、水泳教室も行われる。	・「レクタス」誕生 ・霧が丘教室 ・夏休み教室 ・水泳教室	・バリアフリー法 施行 ・国連で障害者権利条約が採択 ・学校教育法改正特別支援学校へ ・パラリンピック、トリノ冬季大会
二〇〇七 三 平成十九 六 九	入学時の不安を解消させるための入学式体験を初めて実施する。 校外の宿泊体験学習に備え、教室を利用したお泊り体験を初めて実施する。 折り紙講師のスタッフを加え、折り紙教室、生け花教室が始まる。	・入学式体験 ・お泊り体験 ・折り紙、生け花教室	・第七回全国障害者スポーツ大会 ・スペシャルオリンピックス夏季世界大会（上海で開催）
二〇〇八 一 平成二十 三 四 六 七	幼児教室の要望が高まり、別室（現在の多目的室）を設けて、集団で指導を行う。幼稚園等が発達障がい児を受け入れるようになり、二〇一〇年まで活動する。 この月には、会員数が103名となって、100名を超える。 中央ろうきんスタート助成「個性が輝く”ひと・まち・くらし”づくり」1年次助成決定。 平成二十年六月二日。特定非営利活動法人レクタスとなる。この機会に退会者が二十五名あり、会員数が七十八名まで減る。定期的な学習相談を開始する。 神奈川県心身障害児福祉基金財団「障害児放課後支援事業」の助成決定。	・幼児教室 ・各種助成を受ける ・NPO法人レクタス誕生 ・学習相談	・パラリンピック北京夏季大会 ・発達障害教育情報センター開設 ・「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」が成立（平成二十九年施行）

九	NHK厚生文化事業団「わかば基金」の支援先に決定（コンピュータ二台受領）。		
十	この頃から、指導者が付き添って、電車やバスの乗車体験、映画などを鑑賞に行く 体験活動などが始まる。送迎も必要不可欠な場合にのみ行うようになる。	・お出かけ体験 ・送迎付き添い	
二〇〇九 平成二一	中央ろうきん助成プログラム「スタート助成」の二年次助成決定。 この年度より保護者学習会、見学会が定期的開催になる。 五 保護者の要望により、ピアノ、習字教室を始める。 七 青葉区の横浜市立さつきが丘小へ発達障がい児対応のためにスタッフを派遣する。二〇一〇年三月まで。市内小中学校担任との交流・連携が多くなる。 八 東京慈恵会医大（ハノーバー神経科学研究所）大井静雄教授とコラボの「発達脳いきいきファミリーフォーラム」を横浜市西区ホテル・プラムで開催する。 九 講師が退職した生け花、折り紙教室に代わり、フラワー教室が始まる。 十 みずほ福祉助成財団「平成二一年度社会福祉助成金」助成決定。小学校高学年の子ども数の増加からティーンズカフェと二階の読書コーナー設置。	・保護者学習会 ・保護者見学会 ・ピアノ教室、習字教室 ・学校派遣 ・学校連携 ・講演会活動 ・フラワー教室 ・ティーンズカフェ ・ティーンズ読書コーナ	・「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」の一部施行（企業グループ算定特例、事業協同する組合等算定特例の創設等）
二〇一〇 平成二二	三 市立さつきが丘小の音楽室でバンドによる第一回「レクタス・ライブ」を行う。 四 塚原健現理事長が小学校長を退職し、塚原喜代子元代表理事から仕事を引き継ぐ。 四 中央ろうきん助成プログラム「スタート助成」の三年次。 五 第一回のピアノ教室発表会を霧が丘教室で開催する。鉄道クラブが始まる。 七 霧が丘地域ケアプラザと共催で夏休み造形教室、冬休みには書初教室を開催する。	・レクタス・ライブ ・鉄道クラブ ・造形教室, 書初教室	・中央教育審議会初等中等教育分科会に「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」を設置 ・パラリンピック、バンクーバー冬季競技大会
二〇一一 平成二三	六 震災で延期の第二回スクールライブ「がんばろう日本！」をさつきが丘小で開催。 七 霧が丘地域ケアプラザ共催第二回造形教室を行う。これがきっかけで近隣の県立霧が丘高校の生徒さんたちの霧が丘教室へのボランティア活動が始まる。 八 夏休みの自由研究、読書感想文指導などが本格的に始まる。 九 先輩お母さんから身近な問題の解決策を教わる「保護者カフェ」が始まる。 九 霧が丘教室が手狭になり、多目的室、第三学習室が新たに設置される。	・地域ケアプラザ連携 ・自動車クラブ ・高校生ボランティア ・保護者カフェ	・改正障害者基本法が公布 障害者の定義の拡大と合理的配慮概念の導入 ・学習指導要領の改訂平成二三年度より小学校、翌年中学校、その翌年高等学校で実施。小中は二一年度より先行実施

	十	カニングハム久子先生第一回講演会「発達障がい児の環境設定」を開催する。	・カニングハム久子先生	
	十	霧が丘ケアプラザの紹介で地域の元民生委員さんによる編物教室が始まる。	講演会	
	十	多目的室を使って、ギター教室が始まる。霧高生軽音楽部の生徒も参加。	・ギター教室、編物教室	
二〇一二年 平成二四年	二 三 四 五 十 十 十	私立受験のための講演会開催する。受験体制、不登校対応を開始する。 青葉区青葉台に新教室開室（週二日）する。 第三回スクールライブを開催する。 この年度より科学教室が始まる。夏休み科学教室や自由研究対応も始まる。 中央ろうきん助成プログラム「ステップアップ最高助成」助成決定。 青葉台教室移転（週五日）する。三ツ境教室が開室（週一日）する。 県立霧が丘高校の福祉講座へ理事長、アドバイザーが出前授業をする。 カニングハム久子先生第二回講演会「発達障害児の思春期」開催。百七十名参加。	・受験、不登校対応 ・青葉台教室開室 ・科学教室 ・面接練習が定着 ・三ツ境教室開室 ・霧高との連携強化	・障害者の法定雇用率を引き上げる政令が公布される。 ・障害者優先調達推進法制定 ・障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）が施行 ・パラリンピック、ロンドン夏季大会
二〇一三年 平成二五年	十一 一 三 三 七 八 十 十一 十二	桜井お菓子アドバイザーによる保護者対象の「大人のお菓子教室」が行われる。 浦和ロータリークラブ、十日市場小、鴨居ケアプラザで発達障害について講演が続く。 鴨居教室（週二日）、都筑ふれあいの丘教室（週一日）開室。市内五教室になる。 レクタスライブに替えて、「レクタス・フェスタ」を霧が丘教室で開催。 神奈川県NPO等子育て支援活動活性化促進補助金事業の助成決定。 中学生を中心に「グチ会」（学校での人間関係作りをめざす）を開くようになる。 カニングハム久子先生第三回講演会「障がいのある子の成長と共に」百七十名参加。 横浜市立市が尾小通級教室で発達障がい児の進学について講演。約百名参加 横浜みどりライオンズクラブより、20万円相当の備品が贈呈される。	・大人のお菓子教室 ・講演活動 ・五教室体制 ・レクタス・フェスタ ・グチ会	・障害者総合支援法が四月に施行 ・券種の識別性を向上させた五千円券について、平成二六年五月より発行を開始する旨を公表。
二〇一四年 平成二六年	二 三 三	第一回 レクタス成人式を行う。三名の成人を高校生以上の会員でお祝いする。 横浜市金沢区柳町コミュニティハウスで金沢教室を開室する。 〃 柳町コミュニティハウスで講演会を開催する。	・レクタス成人式 ・金沢教室開室 六教室体制	・「障害者権利条約」国会承認 ・パラリンピック、ソチ冬季競技大会

	三	第三回レクタスフェスタを霧が丘教室で開催する。		
	三	都筑ふれあいの丘教室、葛が谷公園前に移転する。		
	三	二六年度に中学へ進学する会員が二四名いたため、中一を前にしての小学六年生と先輩中学生との情報交換の会「中学入学を前にして」を開く。	・中一ギャップ対策	
	四	霧が丘教室で土曜日に中一ギャップ対策のための特別学習を始める。		
	五	三ツ境瀬谷丸、金沢教室で相次いで塚原アドバイザーが講演活動をする。		
	七	長崎県長崎市で行っていた学習教室を正式に「レクタス長崎教室」として開室する。	・長崎教室開室	
	八	明蓬館高校理事長の日野公三先生の高校入試についての講演会を霧が丘で開催	七教室体制	
	八	これまで正会員を対象に行っていたBBQパーティーをスタッフを含めたものにする。		
	十	カニングハム久子先生第四回講演会「発達障がい児者の幸せな人生設計」港南区民文化センター・ひまわりの郷で開催。百九十一名が参加する。		
	十	保護者カフェが鴨居教室でも開かれる。保護者同士の情報交換の要望が高まり、定期的に霧が丘教室の「きりカフェ」三ツ境教室の「みつカフェ」が開催される。	・保護者カフェ	
	十一	私立栄真学園、県立相模向陽館高校への中学生見学会を実施する。	・高校(進学先)見学会	
	十一	金沢教室が柳町コミハから金沢八景駅徒歩一分、瀬戸の一戸建てに移転する。		
	十一	毎年行っていた、二三日の「感謝の集い」をこの年から二年毎の開催とした。学習教室開室十年目の記念の「感謝の集い」を開催する。		
	十二	都筑教室の「ふれあいカフェ」鴨居教室の「カモカフェ」青葉台教室の「青カフェ」ですべての教室で保護者カフェを開催するようになる。		
二〇一五	二	第二回レクタス成人式。三名の成人を十日市場、海陽飯店でお祝いをする。		
平成二七	二	第三回レクタス・フェスタ(卒業・進級祝い)を教室毎に催し物を工夫して開催。	・教室毎にレクタス・	・障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針閣議決定(内閣府)
	三	一～三月にかけて計三回、保護者見学会「就労支援事業所(ウィングル都筑センター)」	フェスタを開催	
	三	第二回の中学校生活報告会を開催して、中一ギャップ対策をさらに進める。		
	四	塚原理事長が「緑区学齢障害児の余暇を考える会」を発展させ、「みどり障がい児者支援ネットワーク」の立ち上げを主導し、レクタスは幹事となる。	・みどり障がい児者支援ネットワーク参加	

	<p>五 横浜市立大学ボランティア支援室と連携。学生が指導スタッフで金沢教室に参加。</p> <p>六 保護者学習会「サポートホーム事業について（NPO法人グリーンフォレスト）」を開催。</p> <p>七 金沢教室が瀬戸から金沢区六浦四-十一-三七-二0二へ移転する。</p> <p>七 理事長と教育アドバイザーが横浜市立大学（長谷川教授）で特別講義をする。</p> <p>八 レクタス学習会「発達障害児のことばの学習」葛西ことばのテーブルを主宰する三好純太先生の講演会を都筑の国際プール会議室にて開催する。</p> <p>十 第五回レクタス講演会「発達障害による二次障害を食い止めよう」開催。二十八名参加横浜社会福祉センター・大ホールにて 講師：カニングハム久子先生</p> <p>十二 保護者学習会「公立中学校の現状～小学校高学年から中学生への支援と対策」開催。</p>	<p>・横浜市立大学連携</p>	<p>・人権シンポジウム「真のユニバーサル社会を目指して～障害のある人と人権～」（東京会場）の開催</p>
<p>二〇一六 一</p> <p>平成二八 一</p> <p>二</p> <p>二</p> <p>三</p> <p>七</p> <p>十</p> <p>十一</p> <p>十一</p> <p>十二</p> <p>二〇一七 一</p> <p>平成二九 二</p> <p>三</p> <p>五</p>	<p>霧が丘、都筑教室で「放課後等デイサービス」の受給者証申請を開始する。金曜日が従来のレクタス。月～木、土曜日が放課後等デイサービス・レクタスとなる。</p> <p>第三回レクタス成人式。二名の新成人と十日市場海陽飯店で開催。</p> <p>放課後等デイサービス（五日）と従来レクタス（一日）を霧が丘・都筑教室で始める。</p> <p>先輩中学生と小学生との「中学校生活報告会」を開催。</p> <p>第四回レクタス・フェスタ開催。今年度は霧が丘教室で合同開催。昆虫の話が有賀先生よりあり、人形劇団「hoo」の楽しい人形劇、その後鉄道・自動車クラブ発表。</p> <p>県立旭陵高校 加藤先生の教員研修を受け入れる。（二日間）</p> <p>第六回レクタス講演会「ネット依存による弊害を食い止めよう」開催 百二十名参加</p> <p>放課後等デイサービスを三ツ境教室で始める。</p> <p>市ヶ尾小学校通級あじさいの会で、理事長、塚原アドバイザーが講演。（二回目）</p> <p>みどり障がい児者支援ネットワーク「みんなの学校」上映会（緑区公会堂で午前・午後実施して約七百名の参加。塚原理事長が閉会式であいさつ。</p> <p>保護者学習会「中一ギャップの乗り越え方」小学4～6年保護者霧が丘教室で開催</p> <p>第四回レクタス成人式 三名の新成人と十日市場海陽飯店で開催。</p> <p>放課後等デイサービスを鴨居教室で始める。</p> <p>「大日本理化学工業」（障害者雇用の素晴らしいモデル、川崎市）を役員で見学。</p>	<p>・放課後等デイサービス （霧が丘・都筑教室）</p> <p>・放課後等デイサービス （三ツ境教室）</p> <p>・放課後等デイサービス （鴨居教室）</p>	<p>・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律施行</p> <p>・パラリンピック、リオ夏季大会</p> <p>・「成年後見制度の利用の促進に関する法律」施行</p> <p>・改正障害者雇用促進法施行</p> <p>・成年後見制度利用促進基本計画閣議決定</p> <p>・「成年後見制度の利用の促進に関する法律」施行</p>

	六	これまで行っていた経営会議（理事会）に加えて、各教室長、児発管をふくむ拡大経営会議を毎月末に行う。その際小口現金の処理もするようになる。		
	十	第七回レクタス講演会「発達障害児の学習支援」開催 百七十名参加		
	十	自動車クラブ 東京モーターショーへ二回目の遠足		
	十一	保護者学習会「高校進学について」霧が丘教室と都筑教室で二回開催。		
	十一	旭区のグループホームをレクタスの将来を考えて、役員が見学する。		
二〇一八	一	金沢教室の放デイ化のために、移転することを含めて二回にわたり説明会を開く。		<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック、平昌冬季大会 ・放課後等デイサービス（金沢教室） ・レクタス・フリースクール募集開始 ・法人化十周年記念 ・障害児相談支援事業
平成三十	三	放課後等デイサービス金沢教室を金沢文庫で始める。		
	三	第五回レクタス成人式 三名の新成人と十日市場海陽飯店で開催。		
	四	レクタス・フリースクールの体制を作り、募集を開始する。		
	九	「deカフェ」不登校に関する保護者カフェを毎月開くようになる。		
	十	十月二十日レクタスNPO法人化十周年記念として、第八回カニングハム先生講演会を開催。保護者の清水さん、北島さんからそれぞれ障害児の母親、父親のお話をいただき、カニングハム久子先生のご講評という講演会。百五十名の参加。同日午後から十周年記念祝賀会をカニングハム先生ご臨席の上開催。次の十年へ。		
	十	みどり障がい児者支援ネットワークの講演会「差別解消法を学ぼう」にレクタス職員がレクタスの研修会を兼ねて参加。		
	十一	緑区自立支援協議会子ども支援連絡会を霧が丘教室で開催し、塚原アドバイザーが講師を務める。		
	十二	みどり障がい児者支援ネットワークの講演会「子どもたちや地域社会にある『目に見えない境界線』」講師レクタス顧問平田東洋英和女大准教授にレクタス研修会で参加。		
二〇一九	一	横浜市小机にある「楠の木学園」へ職員が見学に行く。		
平成三一	二	第六回レクタス成人式 四名の新成人と霧が丘教室で開催。		
	四	「計画相談支援室レクタス」として、障害児相談支援事業を霧が丘教室内で開室。		
	五	新しい元号「令和」が始まる。		